

第3回 定例会のあらまし

平成15年第3回定例会が、9月8日から10月2日までの25日間の日程で開かれました。この定例会では、補正予算および条例の一部改正ならびに平成14年度決算など市長提出議案49件、議員提出議案1件を審議し、討論（賛成Ⅱ自由民主党千葉市議会議員団、千葉市議会公明党、新政五月会、反対Ⅱ日本共産党千葉市議会議員団、市民ネットワーク）が行われ、平成15年度一般会計補正予算など12件については、賛成多数により、平成15年度介護保険事業特別会計補正予算など37件については、全会一致により、原案どおり可決・同意・認定しました。また、議員提出議案の身体障害者補助犬支援条例の制定については、賛成少数により、否決しました。

さらに、意見書1件を審議したほか、各党派の代表質疑が5人の議員により、市政に関する一般質問が12人の議員により行われました。

なお、14年度決算については、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。



中学生議会宣言

中学生議会（市議会議場）

可決した主な議案

平成14年度 各会計歳入歳出決算を認定

《予算》

*一般会計補正予算

国庫補助金の決定に伴い、街路整備事業費や土地区画整理事業費を追加するほか、少子化対策として次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定経費を計上するとともに、不登校児童・生徒の学校復帰を支援するための適応指導教室の整備費などに、地方交付税、国庫支出金、市債などを財源として、合わせて十五億三千五百万円を追加します。

これにより、一般会計の予算総額は、三千三百九十九億二千三百万円となります。

*特別会計補正予算

介護保険事業特別会計など2事業会計に、合わせて六億五千三百万円を追加します。

これにより、企業会計を含めた特別会計の予算総額は、三千三百七十三億五千万円となります。

《条例》

*特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正

公職選挙法の一部改正による期日前投票制度の創設に伴い、期日前投票所の投票管理者および投票立会人の報酬を定めるため、条例の一部を改正します。

*千葉市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

千葉中央第六地区および萩台わかば地区の区域を適用範囲とするため、条例の一部

を改正します。

《町の区域および名称の変更》

住居表示整備事業の実施に伴い、花見川区長作町の一部を長作台1丁目および長作台2丁目に、また、花見川区朝日ヶ丘町および畑町の各一部を朝日ヶ丘1丁目および朝日ヶ丘2丁目に区域および名称を変更します。

《財産の取得》

美浜区若葉3丁目の千葉勤労者総合福祉センターの建物を九千百万円で取得します。

《工事請負契約》

*若葉区貝塚町の若葉区保健福祉センター（仮称）新築工事を十二億三千九百万円で行います。

*若葉区更科町地内の市場谷津調整池整備工事を十三億四千四百万円で行います。

*中央区川崎町地内の蘇我特定地区北側横水路改修工事を五億三千六百万円で行います。

《決算》

平成14年度一般会計の決算額は、歳入三千三百六十四億八千七百七十七万円、歳出三千二百九十四億六千六百万円となり、特別会計および企業会計を合わせた全会計の決算額は、歳入六千五百二十七億一千九百万円、歳出六千四百九十九億九千七百七十七万円となりました。

代表質疑から

9月17日(自由民主党千葉市議会議員団・新政五月会)、18日(千葉市議会公明党・市民ネットワーク・日本共産党千葉市議会議員団)の2日間にわたり、5会派の代表から平成14年度決算議案について質疑が行われました。

自由民主党 千葉市議会議員団 花のあふれるまちづくりについて

Q 市長は、本市の都市イメージを「花の都・ちば」として定め、その確立のため、着実に事業を推進している。今年2月に策定した、市民の方々からの意見を大きく取り入れた「花のあふれるまちづくり取り組み方針」に基づき、平成15年度からは25事業が推進されているが、その進捗状況はどうなっているのか伺う。

A 15年度は、6分野25事業を推進しており、イベントの分野では、4月下旬から6月にかけて中央公園をメイン会場としたフラワーフェスティバルを開催した。「花の都・ちば」の雰囲気作りの分野では、シンボルとなる大型花のトビアリーを、JRR千葉駅と海浜幕張駅の駅前広場に設置した。このほか、地域活動の分野として、公園や街路樹植、道路に面した民有地などに市民の皆様が主体となって行う花壇づくりに、市が花苗などを提供する「手作り花壇」など



千葉駅前広場の「花のトビアリー」

は、大変好評である。このように、現在、ほとんどの事業に着手しており、花のあふれるまちづくり事業が着実に、市民に浸透しているものと感じている。

Q 市民にとって子どもたちの学力の問題は最も関心のあることであり、学力低下に対する不安を解消するには、目に見える形で具体的な方策が必要と考えるが、どのように対応しているのか伺う。

A また、本市は、平成16年度から全ての市立学校に学校二期制を導入するということが、その目的は何らかう。

確かな学力の確保について

Q 確かな学力を育成するため、「わかる授業」を第一に、少人数指導やティームティーチング、習熟の程度に応じた、きめ細かく丁寧な指導などにより、基礎・基本の一層の充実を努め、より確かな学力の定着を図っている。

A 学校二期制は、現在の三学期制に比べ、始業式と終業式が減ることや夏休みや冬休みの直前まで授業時間が増えること、通知表が2回になることから、教師にもゆとりが生まれる、今まで以上に個別指導や繰り返し指導などきめ細かく丁寧な指導ができること、学習サイクルの長期化で、夏休みを含め、7月や12月の行事が可能になるなど、柔軟な学校行事の設定が可能となる。以上のことから、子どもたちはゆとりを持って、じっくりと学習に取り組むことができるようになり、子どもたち、教師、学校、いずれにとってもメリットが大きい。

Q 今年10月から利用を開始する若葉球技場の隣接地にスポーツ施設の整備拡大を図ることとして、基本設計を実施することにより、用地の取得に向けて作業を進めている。

A グラウンドゴルフ場は、この施設の一部として整備するもので、面積約5,000㎡を確保し、1コース8ホールの芝の専用コースを計画している。

Q 18年3月末を予定しており、供用開始は、芝の養生期間を設けることから、同年10月を予定している。

新政五月会 雇用対策について

Q 現在取り組んでいる緊急地域雇用創出特別基金事業の効果について、平成14年度には、事業全体で何人の雇用創出につながり、事業開始以来、地域の労働指標などの様な効果が現れているのか伺う。

A また、この事業は16年度で終了する時限事業との事だが、雇用状況が好転する兆しが未だ見えない状況下において、国に対し17年度以降も事業を継続することを要望すべきと考えるが、見解を伺う。



代表質疑の答弁風景

雇用創出特別基金

Q 緊急地域雇用創出特別基金事業の平成14年度実績については、その目的から雇用効果が都市ニーズに応える事業を優先的に実施し、「放置自転車追放指導」小規模雑居ビル等に対する違反是正指導」など、16事業、二億九千七百万円の事業費で、実雇用人数5,944人の雇用を創出した。同事業が地域の労働指標に及ぼした効果は、千葉市公共職業安定所管内の求人数と有効求人倍率を12年と15年で比較すると、12年3月の求人数が1万70人、有効

グラウンドゴルフ場の整備について

Q グラウンドゴルフ競技は、手軽な健康づくりのスポーツとして、高齢者のみならず、多くの市民が楽しんでいる。

A 市長は、中田最終処分場跡地利用基本計画策定の中で、専用のグラウンドゴルフ場用地の確保、施設内容、規模、完成時期などを検討したが、どのようなグラウンドゴルフ



グラウンドゴルフの練習風景

市民ネットワーク 住民基本台帳について

Q 住民票の閲覧が有力な情報源とされ、名簿ビジネスやストーカー、DV加害者などにとって価値の高いものとなり、個人情報取得に引きされている。本市は、ストーカー被害者への保護要綱を平成14年3月にいち早く制定したことは評価できるが、DV被害者への対策はなされているのか、現在までに申請は2件とのことだが、この要綱の周知はどのようにしているのか伺う。

A また、住民票の大量閲覧が問題となっており、市は閲覧手数料の見直しを16年度から検討することだが、早急に検討を始めるべきではないか、見解を伺う。

谷津田の自然の保全施策指針の実効性の確保について

Q 谷津田保全のためには、市民の理解・協力、行政による支援が必要であり、とりわけ地権者が安心して協力できるよう行政による経済的な支援措置の充実が求められるが、現在どのような地権者への支援を検討しているのか。また、大草地区ではどのような措置がとられているのか伺う。

A 現在残っている谷津田については、



大草地区の谷津田(若葉区)

日本共産党 千葉市議会議員団 蘇我臨海地域開発について

Q 過日、新日本製鉄名古屋製鉄所で、従業員15人が重軽傷を負うコークス炉がスタック爆発事故が発生している。

A このたび、本市で作るサッカー場や商業施設ができる土地の至近距離には操業中のJFEスチール(旧川鉄)の施設があるが、それらがオーブンした時、工場のような施設が稼働している、その距離はどのくらいなのか。不特定多数の市民が集まるのに安全は確保できるのか。また、コークス炉の稼働状況と距離について、安全についても明らかにされた

雇用対策の抜本的改善について

Q 失業者が増大して自殺者も増えている中で、雇用問題は緊急課題となっている。完全失業者の



蘇我臨海地域

Q 商業施設の敷地までの距離は、約250mであり、環境基準などを遵守して操業していることから、安全性は保たれるものと考えている。

A 商業施設の敷地までの距離は、約250mであり、環境基準などを遵守して操業していることから、安全性は保たれるものと考えている。

Q 半数が34歳以下の若者であり、青年の就職難は本市の将来の抱い手の問題として、極めて深刻となっている。

A 自治体レベルの取り組みも始まっており、長野県では「1年間2万人の常勤雇用を創出する」としており、鳥取県では「高卒者の新規採用に賃金を助成する」など雇用創出の努力が始まっている。

Q 本市も、青年の実態調査、声を聞くこと、就職について関係機関や企業に働きかけることなどはじめ、多方面の努力をするよう提案するが見解を伺う。

A 本市は平成15年3月に発行したアンケート調査を実施し、青年の声についてもその中で聞いている。

Q また、関係機関や事業主へも勤労市民行政懇話会などを通じて、雇用対策の強化を要望している。

A 今年7月から、若者も対象にしたキャリアアカウンセリングを始め就職の支援を行っている。8月に雇用・ビジネスセンターを新たに開設し、相談・情報提供による若者への就職支援を行っている。

可決した意見書 (要旨)

議員提出議案として1件の意見書を審議し、可決しました。可決した意見書は、関係行政機関に提出しました。

犯罪防止のための治安対策の強化を求める意見書

国に対し、治安の回復を目指し、内閣が一体となって下記の諸対策を速やかに実施するよう強く求める。

記

- 1 来日外国人及び暴力団等による組織犯罪対策への取り組みをさらに強化すること。銃器を使用した凶悪犯罪や薬物組織犯罪への対策も強化すること。
- 2 警察官を増員し、人口に比して警察官の少ない地域へ重点配分するとともに、警察官OB等の活用や交通警察の一部民間化により、交番・駐在所の整備充実を図ること。
- 3 警備業者等を活用し地域パトロール等を強化したり、防犯効果の大きい地域コミュニケーション形成についての国民の意識啓発を進めること。
- 4 留置場・拘置所など治安関係施設の整備拡充を図ること。
- 5 犯罪防止の立場から毅然たる入国管理体制を確立すること。
- 6 青少年の健全育成のための推進とあわせ、軽微な少年犯罪の放置が犯罪の多発・凶悪化に発展する傾向を重視し、少年非行防止、薬物乱用防止、暴走族対策等を強化すること。



永年勤続議員表彰

永年にわたり市政の振興に努められた功績により、全国市議会議長会から次の議員が表彰され、9月8日の本会議場において表彰状が伝達されました。

在職20年以上特別表彰

- | | |
|-------|-------|
| 竹内 正巳 | 齊藤 肇 |
| 柳田 清 | 福永 洋 |
| 木村 正信 | 市原 弘 |
| 向後 一夫 | 清野 裕三 |

感謝状の伝達

全国市議会議長会から萩田 章議員、市原 弘議員にそれぞれ感謝状が授与され、9月8日の本会議場において伝達されました。

会派構成

(平成15年10月14日現在)

- 議員定数 56人
- 現員 56人
- ◆ 自由民主党千葉市議会議員団 22人
- ◆ 新政五月会 11人
- ◆ 千葉市議会公明党 8人
- ◆ 市民ネットワーク 7人
- ◆ 日本共産党千葉市議会議員団 6人
- ◆ 21世紀クラブ 2人

千葉市議会 公明党 職員給与の見直しについて

Q 本市は、行政改革大綱に基づき、平成14年度から3か年の具体的取組項目を行政改革推進計画に定め取り組んでいる。

A 職員給与の見直しについては、特殊勤務手当が上げられているが、見直しの考え方と取り組み状況について伺う。



定期券うりば

国民健康保険証のカード化について

Q 平成13年に健康保険法施行規則等の一部が改正され、世帯単位で交付されている被保険者証について、被保険者の利便性を考慮し、準備の整った保険者から順次、一人1枚の個人カード化を原則とする。家族が同時に複数の医療機関や診療科で診察を受ける際や旅行先での受診など、保険証の個人カード化は利便性を大きく向上するものとする。

A すでに東京23区では、今年4月から実施している。

Q 本市も保険証の個人カード化を急ぐべきと考えるが、状況について伺う。

A 本市も保険証の個人カード化を急ぐべきと考えるが、状況について伺う。

Q 6か月定期券の価額で支給した場合の通勤手当額の削減効果については、概ね7千円程度になるものと考えている。実施時期を含めた対応については、6か月定期券の価額による一括支給を基本とし、来年4月の実施に向け検討・協議していく。

A 退職手当については、国の改正の趣旨などを踏まえ、関係団体と協議を進めるほか、給与制度全般についても、積極的に見直しを行い、引き続き一層の適正化に努めていきたい。

Q 6か月定期券の価額で支給した場合の通勤手当額の削減効果については、概ね7千円程度になるものと考えている。実施時期を含めた対応については、6か月定期券の価額による一括支給を基本とし、来年4月の実施に向け検討・協議していく。

A 退職手当については、国の改正の趣旨などを踏まえ、関係団体と協議を進めるほか、給与制度全般についても、積極的に見直しを行い、引き続き一層の適正化に努めていきたい。

委員会審査・調査から

常任委員会

9月12日に開かれ、市長提出議案23件、議員提出議案1件、請願・陳情3件を審査しました。その結果、すべての市長提出議案は可決となり、議員提出議案は否決となりました。

また、請願・陳情は、採択送付1件、不採択2件となりました。



経済教育委員会審査風景

総務委員会

一般会計補正予算や特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正など議案10件、請願1件を審査し、同条例の一部改正について、期日前投票制度による投票方法の変更点および効果、投票立会人が立会時間内に交替した例とその報酬額、老人ホームや病院などでの不在者投票の投票率などについて質疑がありました。

保健下水委員会

千葉市花見川区花見川団地周辺の治安強化と千葉市花見川区に警察署の設置を求める請願 採択送付

一般会計補正予算や若葉区保健福祉センター(仮称)新築工事請負契約など市長提出議案6件、議員提出議案1件、請願1件を審査し、若葉区保健福祉センターの必要性や保健福祉を統合する上での課題、区役所機能との連携に対する考え方、施設のバリアフリーおよび相談者のプライバシーへの配慮などについて質疑がありました。

▼乳幼児医療費無料制度の拡充と制度の見直しについての請願 不採択



若葉区保健福祉センター(仮称)完成予想図(若葉区貝塚町)

環境建設委員会

一般会計補正予算や市場谷津調整池整備工事請負契約など議案4件を審査し、調整池に流入する水質の状況、取水調査の有無、調整池からの流出量および水路への影響、調整池内に建設される浜野四街道長沼線バイパス橋脚工事の本工事への影響および実施時期ならびに具体的な工事手法などについて質疑がありました。

経済教育委員会

一般会計補正予算や花見川図書館花見川団地分館、花見川市民センター及び青少年補導センター北分室複合施設改築工事請負契約など議案3件

都市消防委員会

一般会計補正予算や蘇我特定地区北側横水路改修工事に係る工事請負契約など議案4件、陳情1件を審査し、同工事請負契約に関し、今回の工法と騒音および地下水への影響、地盤改良工における杭の深さ、水路全体の今後の計画、当該工事と周辺地域の治水対策との関係などについて質疑がありました。

▼蘇我特定地区内スポーツ公園に「グレストンスポーツ グランジャー」の施設導入を求める陳情 不採択

なお、次のとおり所管事務調査が行われました。

- *緑区おゆみ野霊苑の事前協議申請の経過について(保健下水委員会)
- *両市立病院の寝具類等賃貸業務委託に係る訴訟について(保健下水委員会)
- *新内陸最終処分場の上層遮水シートの破損について(環境建設委員会)
- *ごみ減量のための「ちばルール」の策定について(環境建設委員会)
- *千葉市谷津田の自然の保全施策指針の策定について(環境建設委員会)
- *千葉市観光コンベンション振興計画について(経済教育委員会)
- *消防局指令センターへの医師常駐体制について(都市消防委員会)

大都市税財政制度 地方分権調査特別委員会

7月14日に開かれ、平成16年度国家予算に関する要望などについて協議しました。

また、9月10日には、大都市財政の実態に即応する財源の拡充について

を審査し、一般会計補正予算中、畜産環境対策事業費に関し、ふん尿処理施設未整備畜産農家の整備見直しおよび共同処理施設設置の可能性、ふん尿処理における堆肥以外の用途開発状況などについて質疑がありました。

都市臨海部開発問題 調査特別委員会

8月4日に開かれ、蘇我臨海部事業の概要などについて協議しました。また、10月8日にも開かれ、総合スポーツ公園の整備計画などについて協議しました。

決算審査特別委員会

委員長	萩田 章
副委員長	納元 政幸
第一分科会主査	萩田 章
同 副主査	上村井 真知子
第二分科会主査	納元 政幸
同 副主査	高野 晴美

平成14年度一般会計および特別会計決算議案を審査するため、9月19日に全議員で構成する決算審査特別委員会(2分科会)を設置し、計5日間にわたり審査しました。

10月1日の決算審査特別委員会で、2分科会の審査概要について報告が行われた後、各委員の意見表明が5人の委員により行われ、採決の結果、各会計決算を原案どおり認定しました。

なお、次の6項目の指摘要望事項は、決算審査特別委員会が市長に要望したものです。

指摘要望事項

- 財政については、各種財政指標が依然として厳しい状況にあるため、簡素で効率的な行財政運営となるよう引き続き努力すること。
- また、入札・契約については、さらなる制度の見直しを図るとともに、検査体制の充実強化に努めること。
- 労働対策事業の執行に当たっては、依然として厳しい雇用情勢にあるため、各種相談体制の一層の充実に取り組みすること。
- 福祉施設については、利用者のニーズを的確に把握し、時代の要請に対応した施設の整備ならびに運営に努めるとともに、待機者解消策についても十分に留意すること。
- リサイクルの推進に当たっては、他部局との連携により、再資源化に伴う費用の削減や再生品の流通を促進するなどの施策展開を図ること。
- 市営住宅については、効果的な施策の充実により、市民の住宅需要に的確にこたえられるよう努めること。
- 青少年補導活動については、街頭補導の形骸化を防止するとともに、他機関との連携強化に努めるなど、補導件数の減少に向けた実効ある対策を図ること。

一般質問

市政に関する一般質問が、9月26日から10月1日までの6日間に12人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。

- 行政サービスの向上について
- 国際化施策の充実について
- 三位一体の改革について
- 防犯対策について
- 放置自転車について
- 市民の不安を除く災害対策の充実に向けての取り組みについて
- 都市防災対策について
- 「あぶない、男女共同参画社会」について
- 福祉コミュニティづくりについて
- 人にやさしいまちづくりについて
- 循環型社会に向けて
- デイジー車排ガス規制について

お知らせコーナー

傍聴のご案内
平成15年第4回定例会は11月27日(木)に開会する予定です。
本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。
傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。
会議日程は11月21日(金)に決まる予定です。

千葉市議会ホームページのご案内
平成15年第3回定例会から、本会議や予算・決算審査特別委員会の生中継を開始しました。

- ホームページアドレス
<http://www.city.chiba.jp/gikai/>
- 会議録の検索と閲覧
<http://asp.db-search.com/chiba-c/>



表紙から
7日に行われた中学生議会の様子です。
当日は、各校の代表57人が参加し、市議会さながらに、議長選挙が行われたほか、15人の中学生議員が、日ごろ疑問に感じていることや本市への要望など、市政に関する一般質問が行われました。

議会の最後には、「安心して楽しく暮らせるまち」「豊かな自然と花あふれるまち」など5つの目標を掲げた「千葉市中学生議会宣言」が、全会一致で可決されました。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎043(245)5472